

〔共通事項〕

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。

小学校 1・2年生	ア	自分の感覚や活動を通して、	形や色などをとらえること。
小学校 3・4年生	ア	自分の感覚や活動を通して、	形や色、組合せなどの感じをとらえること。
小学校 5・6年生	ア	自分の感覚や活動を通して、	形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえること。
中学校 1年生	ア	形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解すること。	中学校では、1年生と2・3年生では同じ〔共通事項〕が示されています。
中学校 2・3年生	ア	形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解すること。	平成20年の改訂で新たに示された〔共通事項〕。アでは、形や色彩など部分的なこと、イでは、イメージといった全体的なことを示していることが分かります。アでは、木の目で見ると。イでは、森の目で見るとも例えられます。〔共通事項〕は、指導を見つめ直していく視点を示しているといえます。
小学校 1・2年生	イ	形や色などを基に、	自分のイメージをもつこと。
小学校 3・4年生	イ	形や色などの感じを基に、	自分のイメージをもつこと。
小学校 5・6年生	イ	形や色などの造形的な特徴を基に、	自分のイメージをもつこと。
中学校 1年生	イ	形や色彩の特徴などを基に、	対象のイメージをとらえること。
中学校 2・3年生	イ	形や色彩の特徴などを基に、	対象のイメージをとらえること。

〔共通事項〕のみをとり出して指導したり評価したりするものではないのです。
〔共通事項〕によって、子どもの学びを具体的に想定した指導計画を作成したり、学びの過程を重視して指導や評価を行ったりすることが大切です。

中学校では、1年生と2・3年生では同じ〔共通事項〕が示されています。